



ラテン・アメリカ政経学会

2011 年度第 48 回全国大会プログラム

2011 年 11 月 12 日 (土)

11 月 13 日 (日)

会場：京都外国語大学

受付 12 日：1 号館 5 階 151 教室前 (エレベーター前)

13 日：1 号館 7 階 171 教室前 (エレベーター前)

大会当日の連絡先

京都ラテンアメリカ研究所

〒615-8558 京都市右京区西院笠目町 6

(TEL : 075-312-3388 / FAX : 075-322-6237)

11月12日(土)

12:00-13:00 理事会1号館3階132教室

12:15- 受付1号館5階151教室前(エレベーター前)

13:00-14:00 研究報告第I部 1号館5階151教室(報告20分、論評5分、質疑応答5分)

司会: 田中 高(中部大学)

- ① 澤田真治(防衛大学校)「ラテンアメリカの新しい地域主義と米州関係」
——論評: 石井陽一(トランスパレンシーインターナショナル)
- ② 竹村卓(富山大学)「厄介な隣人関係—コスタリカ・ニカラグア間国境紛争(2010年—)の意味するもの」
——論評: 山岡加奈子(アジア経済研究所)

14:00-14:15 コーヒーブレイク 1号館3階135教室

14:15-16:15 研究報告第II部 1号館5階151教室(報告20分、論評5分、質疑応答5分)

司会: 高橋百合子(神戸大学)

- ① 廣田 拓(昭和女子大学)「アルゼンチンにおける代表民主制の揺らぎと市民の社会的実践」
——論評: 宇佐見耕一(アジア経済研究所)
- ② 吉野達也(神戸大学院)「メキシコ・カルデナス政権期における利益代表と再分配政策—農地分野を中心に—」
——論評: 谷 洋之(上智大学)
- ③ 宮地隆廣(同志社大学)「ボリビアにおける先住民運動組織の分裂に関する考察」
——論評: 村上勇介(京都大学)
- ④ 坂口安紀(アジア経済研究所)「チャベス政権下の地域住民委員会と民主主義」
——論評: 吾郷健二(西南学院大学)

16:15-16:30 コーヒーブレイク 1号館3階135教室

16:30-17:50 特別講演 1号館5階151教室

講師: Eduardo Viola 教授(ブラジル大学)

演題: Elements of Brazilian foreign policy under the Dilma Rousseff administration (2011) (使用言語: 英語)

講師紹介

Eduardo Viola was born in 1949 in Buenos Aires Argentina, moved to Brazil in 1976 and became Brazilian citizen in 1989. He has a Doctorate in Political Science from the University of Sao Paulo (1982) and Post-Doctoral training in international political economy at the University of Colorado at Boulder. He has been Full Professor at the Institute of International Relations, University of Brasilia, since 1993 and Senior Researcher of the Brazilian Council for Research (CNPQ) since 1986. He has published four books and more than ninety articles in journals or books on issues of Globalization and Governance, Democracy and Democratization in South America, Brazilian Foreign Policy, and, International Political Economy of Climate Change. He has published in Portuguese, English, Spanish, French and Italian in thirteen countries.

Dr. Viola has been in Japan twice for international scientific meetings on global environmental change: in 1999 (Tokyo and Kyoto) and in 2000 (Kobe and Osaka). He has had several meetings with Japanese diplomats (including the Ambassador) in Brazil in the last decade, discussing issues of Japanese/Brazilian relations, Brazilian foreign policy and South American international relations.

18:10-20:10 懇親会 国際交流会館6階961教室(ユニバーシティギャラリー)

11月13日(日)

9:00— 受付 1号館7階171教室前

9:30—11:00 研究報告第Ⅲ部 1号館7階171教室(報告20分、論評5分、質疑応答5分)

司会：浜口伸明(神戸大学)

- ① 阿部博友(一橋大学)「ブラジル企業法制の概要—ブラジル企業のガバナンス体制研究の第一歩として—」
——論評：小池洋一(立命館大学)
- ② 近田亮平(アジア経済研究所)「ブラジルの貧困高齢者扶助年金—問題化する人種格差からの再検討—」
——論評：石田信義(京都外国語大学)
- ③ 咲川可央子(神戸大学院)「メキシコの国内市場統合について」
——論評：福味 敦(東海大学)

11:00—11:10 コーヒーブレイク 1号館7階ロビー

11:10—12:10 研究報告第Ⅳ部 1号館7階171教室(報告20分、論評5分、質疑応答5分)

司会：宇佐見耕一(アジア経済研究所)

- ① 佐藤 純(八戸工業高等専門学校)「1930年代大不況下ラテン・アメリカにおけるイングランド銀行金融使節団の活動—「周辺」の視点からの再検討—」
——論評：今井圭子(上智大学)
- ② 村上善道(神戸大学院)「チリのコンセルタシオン政権の経済政策形成におけるCEPALの役割」
——論評：安井 伸(慶應義塾大学)

12:10—13:10 昼食 135教室(事前予約された方にのみ弁当を配布いたします)

13:10—13:50 会員総会 1号館7階171教室

13:50—15:20 研究報告第Ⅴ部 1号館7階171教室(報告20分、論評5分、質疑応答5分)

司会：久松佳彰(東洋大学)

- ① 大瀧正子(立命館大学研究生)「法定アマゾン域内の熱帯雨林資源の持続可能な利用に関する経済分析」
——論評：西島章次(神戸大学)
- ② 山元一洋(上智大学院)「ブラジル・サンパウロ市における参加型学校運営；市民と学校の関係性」
——論評：小池洋一(立命館大学)
- ③ 小野奈々(滋賀県立大学)「ブラジルにおける水法制定以前の河川流域委員会の設立経緯—市民参加による水資源管理の視点から」
——論評：山崎圭一(横浜国立大学)

15:20—15:30 コーヒーブレイク 1号館7階ロビー

15:30—17:15 シンポジウム 「自然災害とラテン・アメリカ」

1号館7階171教室(趣旨説明5分、報告各20分、論評10分、全体討論30分)

コーディネータ：住田育法(京都外国語大学)

報告：浦部浩之(獨協大学)「ハイチ」

山敷庸亮(京都大学)「ブラジル」

北野浩一(アジア経済研究所)「チリ」

論評：幡谷則子(上智大学)

全体討論

以上